

## 希望の巡礼者の旅



2025 年が終わり、新年 2026 年が始まりました。神様はまた一年の新しい時を私たちに与えてくださいました。神様が新しくしてくださるのは時間だけではなく、希望の巡礼者としての道を歩むチャンスをも与えてくださいました。

2025 年の主の降誕祭は素晴らしく、とても穏やかなお祝いでした。数多くの信者がミサに参列しました。まるで、当番で牧場にいた羊飼いたちが、天から聞こえる天使の喜びのお知らせの声と、飼葉おけに寝ているキリストのお声を聞いて、大喜びでベツレヘム行くかのような雰囲気でした。子供もご高齢の方も、皆喜んで主の誕生を祝うことができました。これらの全ての事が出来たのは、信仰があるからです。信仰によってこの祝いの喜びに参加することができるのは、神様が私たちを、そのようにふさわしくしてくださるからです。

使徒パウロの言葉に従い、故フランシスコ教皇は言われました。

「私たちは信仰によって義とされたのだから、私たちは主イエス・キリストによって神との間に平和を得ており、キリストのおかげで、今の恵みに信仰によって導き入れられ、神の栄光にあずかる希望を誇りにしています。希望は私たちを欺くことはありません。私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。」

私たちは神の栄光にあずかる希望を誇りとし、希望の巡礼者として、2026 年の旅を歩むようにと招かれています。

キリストは宣教の初めの時に「悔い改めよう、神の国が近づいた」と宣言しました。神の国が近づいただけでなく、既に開いたということです。勇気をもって、その開いた神の国に向かって進みましょう。神の国に近づくことはキリストに属するためです。神の国に生きるということはキリストのうちに生きるということです。

希望の道を最後まで歩み、神の国に達することが出来ますように。神の力を願い、それに支えられて、生き続けましょう。

2026 年 2 月

カトリック上野毛教会 主任司祭

ペトルス・ウィリー・ツバ・ドイ O. C. D.